

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(バンクローン)	
信託期間	2023年12月7日まで(2014年1月8日設定)	
運用方針	主として円建ての外国投資法人であるインベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン(日本円ヘッジ)の投資信託証券への投資を通じて、米ドル建てのバンクローン(貸付債権。以下同じ。)等に実質的な投資を行い、利子収益の確保をめざします。当該外国投資法人においては、米ドル建てのバンクローンのほか、米ドル建てのバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券や米国債等にも投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資法人への投資は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資法人において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に委託します。	
主要運用対象	米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン(日本円ヘッジ)およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン(日本円ヘッジ)	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドへの投資を通じて、米ドル建てのバンクローン等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

米ドル建て担保付貸付債権オープン <為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)

愛称:守護神



第3期(決算日:2014年9月8日)

第4期(決算日:2014年12月8日)



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)(愛称:守護神)」は、去る12月8日に第4期の決算を行いましたので、法令に基づいて第3期~第4期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

営業企画推進部 TEL. 0120-151034
お客様専用フリーダイヤル (9:00~17:00, 土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目 次

米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり> (3ヵ月決算型)のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	10
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	12
◇損益の状況	13
◇お知らせ	14

投資対象ファンドのご報告

◇インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)	16
◇マネー・マーケット・マザーファンド	18

「インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)」につきましては、現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		債権組入比率	債券先物比率	投資信託証券比率	純資産総額
		税金分配	騰落率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円
2014年1月8日	10,000	—	—	—	—	—	3,506
1期(2014年3月7日)	9,965	0	△0.4	0.1	—	99.0	3,732
2期(2014年6月9日)	9,977	10	0.2	0.1	—	99.0	3,713
3期(2014年9月8日)	9,938	0	△0.4	0.1	—	99.2	2,741
4期(2014年12月8日)	9,801	0	△1.4	0.1	—	99.0	2,502

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に実質的な投資を行い、利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、動向きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基準価額	基準価額		債権組入比率	債券先物比率	投資信託証券比率
			騰落率	騰落率			
第3期	(期首)	円	%	%	%	%	%
	2014年6月9日	9,977	—	0.1	—	99.0	
	6月末	9,987	0.1	0.1	—	99.1	
	7月末	9,970	△0.1	0.1	—	98.5	
	8月末	9,951	△0.3	0.1	—	98.9	
第4期	(期末)	円	%	%	%	%	%
	2014年9月8日	9,938	△0.4	0.1	—	99.2	
	(期首)	円	%	%	%	%	%
	2014年9月8日	9,938	—	0.1	—	99.2	
	9月末	9,894	△0.4	0.1	—	99.2	
10月末	9,887	△0.5	0.1	—	99.0		
11月末	9,884	△0.5	0.1	—	99.4		
(期末)	円	%	%	%	%	%	
2014年12月8日	9,801	△1.4	0.1	—	99.0		

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

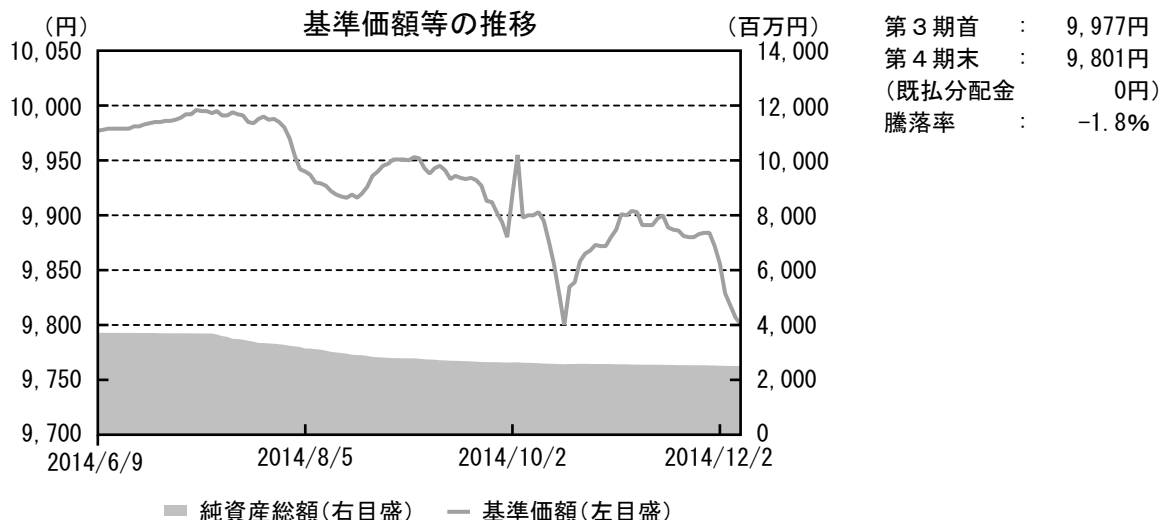
運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第3期～第4期：2014/6/10～2014/12/8)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.8%の下落となりました。



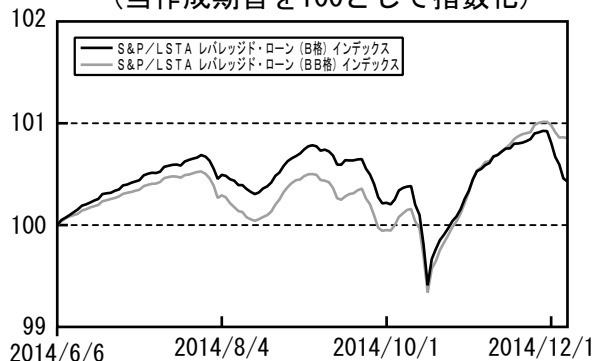
基準価額の変動要因

上昇要因	米ドル建てのバンクローン(貸付債権)等を実質的な主要投資対象としたため、ローン利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ファンドで保有しているバンクローンの価格下落や売買コスト等が基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第3期～第4期：2014/6/10～2014/12/8)

(ご参考)
バンクローン市況の推移
 (当作成期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) S&P/LSTA レバレッジ・ローン・インデックスとは、S&P社と米国のローン市場の業界団体であるLSTA (ローン・シンジケート・アソシエーション・アンド・トレーディング・アソシエーション) との提携のもとに算出されている、バンクローンの値動きを示す代表的なインデックスです。

◎バンクローン市況

米ドル建てバンクローン市況 (S&P/LSTAによる代表的な指数を参照しています) は小幅上昇しました。

- ・作成期首から2014年10月中旬にかけては、ウクライナや中東情勢の緊迫化や香港の民主化デモなどを受けた地政学的リスクの高まりを背景に投資家のリスク回避的な動きが強まったこと、世界的に株式市況が急落したことなどがスプレッド (国債に対する上乘せ金利) の拡大要因となり、バンクローン市況は下落しました。
- ・10月中旬から作成期末にかけては、株式市況が回復したことなどがスプレッドの縮小要因となり、バンクローン市況は上昇しました。

◎為替

- ・米ドルの円に対する為替変動リスクに関しては、高水準の為替ヘッジを行ったため、円・米ドル為替市況の変動が基準価額に与える影響は限定的となりました。

◎短期金融市場

- ・当作成期中の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート (無担保・翌日物) は安定的に推移し、2014年12月8日のコール・レートは0.065%となりました。なお、日銀は2014年10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり> (3ヵ月決算型)>

- ・当ファンドは、円建ての外国投資法人である「インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)」を高位に組み入れました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券 (以下、マザーファンド) を一部組み入れた運用を行いました。実質的な組入外資建資産については、投資を行う外国投資法人において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)>

- ・作成期首から2014年9月下旬にかけては、円建外国投資法人において、米ドル建てバンクローンの比率を概ね80~90%程度、米ドル建てバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券を概ね15%程度組み入れました。
- ・9月末時点では、円建外国投資法人において、大口の解約に対する資金対応のため、バンクローン組入比率が50%程度に低下しました。その後、円建外国投資法人において、今後もバンクローン市場の変動性が高まる懸念があること、ファンドの規模や資金動向等を勘案し流動性確保が必要と考えたことから、バンクローン組入比率は80%を下回る水準に引き下げました。また、この間、米ドル建てバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券を概ね5~15%程度組み入れました。
- ・前記のような運用を行った結果、バンクローン利子収入を享受したことはプラス要因となりましたが、前述の大口解約に伴うバンクローンの売買コストやエネルギーセクターなどを中心としたバンクローン価格の下落等の要因により、基準価額は作成期首と比べて下落しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ0.02%の上昇となりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

種別構成、バンクローンの組入上位10業種、バンクローンの格付分布、バンクローンの組入上位10銘柄は、インベスコ・シニア・セキュアード・マネジメント・インク（インベスコ社）提供のデータ（2014年5月末（現地2014年5月29日基準）、2014年11月末（現地2014年11月26日基準））に基づき作成したものです。

(ご参考)

種別構成

2014年5月末（現地2014年5月29日）

	比率
バンクローン	83.3%
上場投資信託証券（ETF）	15.7%
その他現金等	1.0%
合計	100.0%

- ・比率は主要投資対象である「インベスコ・シニア・セキュアード・バンクローン・ファンドジャパン（日本円ヘッジ）」の純資産総額に対する割合です。
- ・上場投資信託証券（ETF）は、バンクローン等に投資を行うETF（PowerShares Senior Loan Portfolio）です。
- ・計上タイミング等により「その他現金等」がマイナスで表示される場合があります。

2014年11月末（現地2014年11月26日）

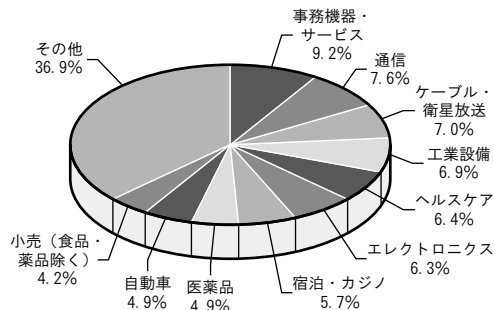
	比率
バンクローン	72.2%
上場投資信託証券（ETF）	13.6%
その他現金等	14.1%
合計	100.0%

- ・比率は主要投資対象である「インベスコ・シニア・セキュアード・バンクローン・ファンドジャパン（日本円ヘッジ）」の純資産総額に対する割合です。
- ・上場投資信託証券（ETF）は、バンクローン等に投資を行うETF（PowerShares Senior Loan Portfolio）です。
- ・計上タイミング等により「その他現金等」がマイナスで表示される場合があります。

(ご参考)

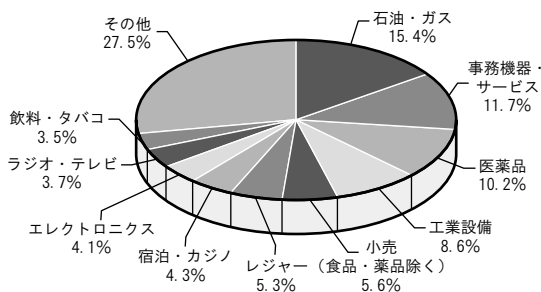
バンクローンの組入上位10業種

2014年5月末（現地2014年5月29日）



- ・比率は組入バンクローン評価額に対する割合です。
- ・業種はS&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスの業種分類を基に、インベスコ社が分類したものです。

2014年11月末（現地2014年11月26日）

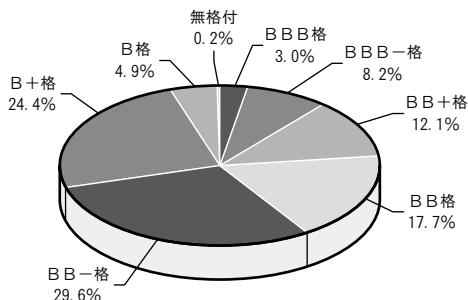


- ・比率は組入バンクローン評価額に対する割合です。
- ・業種はS&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスの業種分類を基に、インベスコ社が分類したものです。

(ご参考)

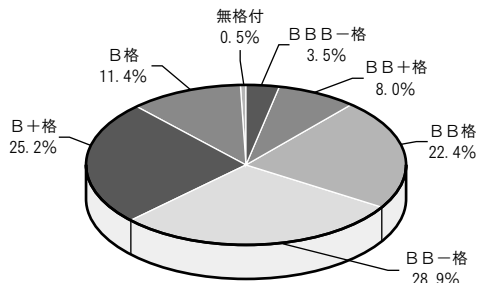
バンクローンの格付分布

2014年5月末 (現地2014年5月29日)



- ・比率は組入バンクローン評価額に対する割合です。
- ・格付の表示にあたっては、S & P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。
- ・無格付はプライベート (非公開) 格付を含みます。

2014年11月末 (現地2014年11月26日)



- ・比率は組入バンクローン評価額に対する割合です。
- ・格付の表示にあたっては、S & P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。
- ・無格付はプライベート (非公開) 格付を含みます。

(ご参考)

バンクローンの組入上位10銘柄

2014年5月末 (現地2014年5月29日)

(組入銘柄数: 161銘柄)

	銘柄	クーポン	償還日 (弁済期限)	業種	比率
1	Windstream Corporation Term Loan B4	3.500%	2020/1/23	通信	2.1%
2	Husky Injection Molding Systems Ltd New Term Loan B	4.250%	2018/7/2	工業設備	1.8%
3	H.J. Heinz Company Term Loan B2	3.500%	2020/6/5	食品	1.8%
4	Quikrete Holdings, Inc. 1st Lien Term Loan	4.000%	2020/9/28	建設・不動産	1.8%
5	Biomet Inc. Term Loan B2	3.658%	2017/7/25	ヘルスケア	1.8%
6	UPC Financing Partnership USD Term Loan AH	3.250%	2021/6/30	ケーブル・衛星放送	1.8%
7	Asurion LLC New Term Loan B2	4.250%	2020/7/8	事務機器・サービス	1.8%
8	Transdigm, Inc. Term Loan C	3.750%	2020/2/28	航空・防衛	1.8%
9	Nuance Communications, Inc. Term Loan C	2.910%	2019/8/7	事務機器・サービス	1.8%
10	Charter Communications Operating, LLC Term Loan F	3.000%	2021/1/3	ケーブル・衛星放送	1.8%

- ・比率は組入バンクローン評価額に対する割合です。
- ・業種はS & P/LSTA レバレッジド・ローン・インデックスの業種分類を基に、インベスコ社が分類したものです。

2014年11月末 (現地2014年11月26日)

(組入銘柄数: 119銘柄)

	銘柄	クーポン	償還日 (弁済期限)	業種	比率
1	Doosan Infracore International, Inc. Term Loan B	4.500%	2021/5/28	工業設備	4.4%
2	Catalent Pharma Solutions Inc. USD Term Loan B	4.250%	2021/5/20	医薬品	4.0%
3	Gray Television, Inc. 2014 Term Loan B	3.750%	2021/6/13	ラジオ・テレビ	3.6%
4	Seadrill Partners Finco LLC Term Loan B	4.000%	2021/2/21	石油・ガス	3.3%
5	DS Services of America, Inc. New Term Loan	5.250%	2020/8/30	飲料・タバコ	3.2%
6	Doncasters Finance US LLC USD Term Loan	4.500%	2020/4/9	工業設備	3.2%
7	Novelis, Inc. New Term Loan	3.750%	2017/3/10	非鉄金属	3.2%
8	Paragon Offshore Finance Company Term Loan B	3.750%	2021/7/16	石油・ガス	3.2%
9	EMI Music Publishing Limited Term Loan B	3.750%	2018/6/29	出版	3.1%
10	Grifols Worldwide Operations USA, Inc. USD Term Loan B	3.154%	2021/2/27	医薬品	3.0%

- ・比率は組入バンクローン評価額に対する割合です。
- ・業種はS & P/LSTA レバレッジド・ローン・インデックスの業種分類を基に、インベスコ社が分類したものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等を実質的な投資を行い、利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期	第4期
	2014年6月10日～2014年9月8日	2014年9月9日～2014年12月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%	— —%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	46	129

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり> (3ヵ月決算型)>

- ・運用の基本方針にしたがって、引き続き円建て外国投資法人への投資を通じて米ドル建てのバンクローンを高位に組み入れた運用を行うほか、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。また、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持していく方針です。

<インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)>

- ・米国経済は回復基調にあり、マクロ経済は依然良好と見ています。また、企業業績は堅調に推移しており、多くの企業が手元流動性の確保やローンの償還期限を延長することに成功していることから、デフォルト（債務不履行）率が急激に高まる可能性は低いと予想しています。米国では量的緩和策の終了が決定されましたが、政策金利の引き上げには依然相応の時間を要すると考えます。米国金利は景気回復の進行とともに上昇していくと見られる中、中期的

な金利上昇リスクを回避しようとする投資家の動きは、変動金利の特性から金利上昇に対する耐性が強いバンクローンへの需要を下支えする要因になると考えます。また、スプレッドは過去の平均より高い水準を維持しており、相対的に高い利回りが期待できる数少ない資産のうちの一つであることは、バンクローンの魅力だと考えます。引き続き、流動性に配慮したうえで、ローン発行企業のファンダメンタルズに対する詳細な調査を行い、個々のローンのバリュエーション（投資価値基準）を考慮したバランスの取れたポートフォリオの構築・運用を行っていきます。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。
- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、引き続き残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2014年6月10日~2014年12月8日)

項 目	第3期~第4期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 58	% 0.582	(a) 信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0.189)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価(再委託先の報酬を含みます。)
(販 売 会 社)	(37)	(0.376)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	58	0.584	
作成期中の平均基準価額は、9,928円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年6月10日～2014年12月8日)

投資信託証券

銘柄		第3期～第4期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	インベスコ・シニア・セキアード・バンク・ローン・ファンド-ジャパン (日本円ヘッジ)	千口 4	千円 49,110	千口 117	千円 1,169,060

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2014年6月10日～2014年12月8日)

利害関係人との取引状況

<米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)>

該当事項はございません。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

区分	第3期～第4期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,100	百万円 1,099	% 26.8	百万円 -	百万円 -	% -
現先取引(公社債)	1,810	850	47.0	1,710	850	49.7

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2014年12月8日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第2期末	第4期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	インベスコ・シニア・セキアード・バンク・ローン・ファンド-ジャパン (日本円ヘッジ)	367	255	2,477,889	99.0
	合計	367	255	2,477,889	99.0

(注) 比率は米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第2期末	第4期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		3,445	3,445	3,508

○投資信託財産の構成

(2014年12月8日現在)

項	目	第4期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資証券		2,477,889	98.7
マネー・マーケット・マザーファンド		3,508	0.1
コール・ローン等、その他		28,402	1.2
投資信託財産総額		2,509,799	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第3期末	第4期末
	2014年9月8日現在	2014年12月8日現在
	円	円
(A) 資産	2,791,272,297	2,509,799,117
コール・ローン等	51,416,075	28,400,974
投資証券(評価額)	2,718,758,111	2,477,889,725
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	3,508,036	3,508,380
未収入金	17,590,000	—
未収利息	75	38
(B) 負債	50,062,427	7,561,731
未払解約金	40,393,110	—
未払信託報酬	9,644,347	7,542,207
その他未払費用	24,970	19,524
(C) 純資産総額(A-B)	2,741,209,870	2,502,237,386
元本	2,758,192,181	2,553,127,257
次期繰越損益金	△ 16,982,311	△ 50,889,871
(D) 受益権総口数	2,758,192,181口	2,553,127,257口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,938円	9,801円

○損益の状況

項 目	第3期	第4期
	2014年6月10日～ 2014年9月8日	2014年9月9日～ 2014年12月8日
	円	円
(A) 配当等収益	17,689,899	28,795,147
受取配当金	17,681,889	28,791,147
受取利息	8,010	4,000
(B) 有価証券売買損益	△18,775,924	△56,403,568
売買益	3,612,966	1,078,699
売買損	△22,388,890	△57,482,267
(C) 信託報酬等	△9,669,317	△7,561,731
(D) 当期損益金(A+B+C)	△10,755,342	△35,170,152
(E) 前期繰越損益金	△5,981,527	△15,492,526
(F) 追加信託差損益金	△245,442	△227,193
(配当等相当額)	(13,809)	(12,782)
(売買損益相当額)	(△259,251)	(△239,975)
(G) 計(D+E+F)	△16,982,311	△50,889,871
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△16,982,311	△50,889,871
追加信託差損益金	△245,442	△227,193
(配当等相当額)	(13,809)	(12,782)
(売買損益相当額)	(△259,251)	(△239,975)
分配準備積立金	12,801,915	33,083,875
繰越損益金	△29,538,784	△83,746,553

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 3,721,737,498円
作成期中追加設定元本額 280,117円
作成期中一部解約元本額 1,168,890,358円
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は50,889,871円です。
- ③分配金の計算過程

		第3期	第4期
費用控除後の配当等収益額	A	8,020,876円	21,233,748円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	－円	－円
収益調整金額	C	13,809円	12,782円
分配準備積立金額	D	4,781,039円	11,850,127円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	12,815,724円	33,096,657円
当ファンドの期末残存口数	F	2,758,192,181口	2,553,127,257口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	46円	129円
1万口当たり分配金額	H	－円	－円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円	－円

- ④信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の2以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

*三菱UFJ投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

- ①運用委託先の名称変更に伴い、「インベスコ投信投資顧問株式会社」から「インベスコ・アセット・マネジメント株式会社」へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年9月9日)
- ②書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)
- ③併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)
- ④買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)
- ⑤運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)
- ⑥2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2014年12月8日現在)

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(2,358,494千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第4期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,100,000 (1,450,000)	2,100,376 (1,450,024)	87.5 (60.4)	— (—)	— (—)	— (—)	87.5 (60.4)
合 計	2,100,000 (1,450,000)	2,100,376 (1,450,024)	87.5 (60.4)	— (—)	— (—)	— (—)	87.5 (60.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	第4期末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券					
第479回国庫短期証券		—	150,000	149,999	2014/12/15
第481回国庫短期証券		—	200,000	199,999	2014/12/22
第482回国庫短期証券		—	100,000	100,000	2015/1/8
第483回国庫短期証券※		—	100,000	100,000	—
第490回国庫短期証券		—	100,000	100,002	2015/2/9
第492回国庫短期証券		—	100,000	100,002	2015/2/16
第493回国庫短期証券		—	200,000	200,005	2015/2/23
第496回国庫短期証券		—	300,000	300,010	2015/3/9
第497回国庫短期証券		—	200,000	200,003	2015/3/16
第326回利付国債(2年)		0.1	200,000	200,054	2015/3/15
第327回利付国債(2年)		0.1	100,000	100,036	2015/4/15
第331回利付国債(2年)		0.1	200,000	200,142	2015/8/15
第332回利付国債(2年)		0.1	150,000	150,120	2015/9/15
小 計			2,100,000	2,100,376	
合 計			2,100,000	2,100,376	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

<参考>投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)	マナー・マーケット・マザーファンド
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドへの投資を通じて、米ドル建てのバンクローン等に実質的な投資を行い、利子収益の確保をめざします。 ・米ドル建てのバンクローンのほか、米ドル建てのバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券や米国債等にも投資を行います。 ・原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	米ドル建てバンクローン等	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、純資産総額の80%以上を米ドル建てのバンクローンに投資します。 ・原則として、純資産総額の20%まで、米ドル建てのバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券や米国債等に投資できるものとします。 ・原則として、取得時においてB-格相当以上の格付けを有するバンクローンに投資します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができません。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
決算日	原則として毎年8月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	投資運用会社はその裁量によって、原則として毎月収益分配を発表する意向ですが、収益分配を保証するものではありません。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

(1) 運用計算書

- (A) インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)
現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。
- (B) マネー・マーケット・マザーファンド
21頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 純資産変動計算書

- インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)
現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

(3) 投資有価証券明細表

- (A) インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)
現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。
- (B) インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンド
現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。
- (C) マネー・マーケット・マザーファンド
20頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第20期》決算日2014年11月20日

[計算期間：2014年5月21日～2014年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第20期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
(期 首) 2014年5月20日	円 10,180	% 84.7	% —
5月末	10,180	0.0	—
6月末	10,181	0.0	—
7月末	10,181	0.0	—
8月末	10,181	0.0	—
9月末	10,182	0.0	—
10月末	10,182	0.0	—
(期 末) 2014年11月20日	10,183	0.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

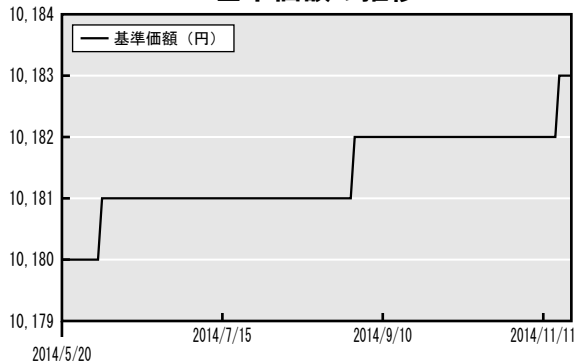
(注) 純資産総額は、期首2,716百万円、期末2,373百万円。

当期の運用経過

◆ 基準価額の推移

基準価額は期首に比べ0.03%の上昇となりました。

基準価額の推移



◆ 基準価額の変動要因

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2014年11月20日のコール・レートは0.066%となりました。なお、日銀は10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

今後の運用方針

◆ 運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持

することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◆ 今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、引き続き残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

当期中に発生した費用はありません。

売買および取引の状況

(2014年5月21日～2014年11月20日)

◆ 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	4,660,168	559,994 (4,400,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子は含まれておりません。)

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

組入資産の明細

◆ 国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債の種類別開示

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	2,000,000 (1,350,000)	2,000,418 (1,350,056)	84.3 (56.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	84.3 (56.9)
合計	2,000,000 (1,350,000)	2,000,418 (1,350,056)	84.3 (56.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	84.3 (56.9)

(注) () 内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内（邦貨建）公社債の詳細開示（個別銘柄別）

2014年11月20日現在

種類	銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	第475回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/11/25
	第476回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/1
	第479回国庫短期証券	—	150,000	149,999	2014/12/15
	第481回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/22
	第482回国庫短期証券	—	100,000	100,001	2015/1/8
	第486回国庫短期証券	—	100,000	99,999	2014/12/3
	第490回国庫短期証券	—	100,000	100,006	2015/2/9
	第492回国庫短期証券	—	100,000	100,008	2015/2/16
	第493回国庫短期証券	—	200,000	200,041	2015/2/23
	第326回利付国債（2年）	0.1	200,000	200,060	2015/3/15
	第327回利付国債（2年）	0.1	100,000	100,038	2015/4/15
	第331回利付国債（2年）	0.1	200,000	200,144	2015/8/15
	第332回利付国債（2年）	0.1	150,000	150,120	2015/9/15
	合計			2,000,000	2,000,418

投資信託財産の構成

2014年11月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,000,418	84.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	372,977	15.7
投 資 信 託 財 産 総 額	2,373,395	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年11月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,373,395,647円
コール・ローン等	372,850,572
公社債(評価額)	2,000,418,450
未 収 利 息	78,819
前 払 費 用	47,806
(B) 負 債	869
未 払 解 約 金	869
(C) 純資産総額(A-B)	2,373,394,778
元 本	2,330,826,446
次期繰越損益金	42,568,332
(D) 受 益 権 総 口 数	2,330,826,446口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

損益の状況

(2014年5月21日~2014年11月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	520,435円
受 取 利 息	520,435
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	40,329
売 買 益	131,700
売 買 損	△ 91,371
(C) 当期損益金(A+B)	560,764
(D) 前期繰越損益金	48,112,637
(E) 追加信託差損益金	26,511,377
(F) 解約差損益金	△32,616,446
(G) 計 (C+D+E+F)	42,568,332
次期繰越損益金(G)	42,568,332

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

①期首元本額	2,668,018,452円	
期中追加設定元本額	1,459,518,984円	
期中一部解約元本額	1,796,710,990円	
②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)		
三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド		245,571,395円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド (毎月決算型)		5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		22,407,722円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		2,727,794円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)		170,286円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		126,013,765円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		231,818,919円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)		429,650円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		11,926,122円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		679,345,083円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)		197,649円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)		1,799,230円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド		3,156,423円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		248,106円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		712,999円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		1,490,575円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<新興国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		446,819円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		2,188,822円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		614,937円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (毎月分配型)		68,417,834円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)		3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)		35,941,494円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		938,449円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		1,787,931円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		8,737,199円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		40,480,808円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		13,108,332円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		4,071,402円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		68,076,479円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		757,771円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)		1,232,040円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		138,108,832円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		2,221,253円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)		2,971,153円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		2,576,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		13,171,200円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)		78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		3,143,477円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		2,669,954円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		10,889円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		20,706円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)		491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)		98,368円
三菱UFJ / UBS グローバル好利回りCBファンド2012-11 (円ヘッジ) (限定追加型)		10,816,126円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)		89,100,298円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)		266,340円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)		472,643円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)		40,301円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (年2回分配型)		20,637円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)		2,438,810円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)		7,176,471円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		1,071,498円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)		19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)		491,449円

三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	5,519,741円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	536,847円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	470,711円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	303,811円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	100,461円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	1,475,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	980,118円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回りCBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり> (3ヵ月決算型)	3,445,331円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	41,258円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	633,556円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	235,745円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	1,565,662円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	320,205円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	18,797,761円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	3,312,052円
Navio インド債券ファンド	885,566円
Navio マネープールファンド	3,999,901円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	116,474円
MUAMトビックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	124,156,095円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	34,396,392円
合計	2,330,826,446円